

# 本を選ぶ

## 高校図書館版

NO.20 1995年(平成7年)11月10日

●発行/ライブラリー・アド・サービス

本社 〒162 東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン 517 TEL.03-3235-6168

ぶっく・えんど

### 季節が流れる

CDの広告にはよく「思い出の歌100曲」のようなものが載せられており、またNHKの企画番組には「心に残る100曲」のようなものもある。そのようなものを見たり聴いたりしているうちに、「少年少女の頃読んだ思い出の本100冊」のような企画をたてて、いろいろの人から心に深く刻まれた1冊の本を挙げてもらったらどんなことになるだろうかと空想した。もちろん世代によって違うから、昭和初期、昭和中期のように分けなくてはいけないかもしれない。私は昭和5年生まれで、小学校に入った年に中国との戦争がはじまったのだから、この分け方では昭和初期ということになるだろう。

私の両親は本好きだったせいもあり、私も本好きの少年として育った。それでもいまのように、親が子どもにいつでも本を買い与えるような雰囲気ではなかった。日本全体が質素だったのである。時折り買ってもらう本は宝物のようで、何度も何度も繰り返し読んでから、いまでも何冊かの本は表紙の色合いや挿絵や写真まで思い出すことができる。当時は「のらくろ」や「少年倶楽部」が全盛時代であったが、昭和11年頃、新潮社から日本少國民文庫16冊が山本有三の監修で出版され、その何冊かは私には思い出の本となった。

この文庫の一冊に有名な吉野源三郎の『君たちはどう生きるか』があったが、ほかの本の題名も、いま改めていくつか書き出してみると、光り輝いているよう

に見える。『人間はどれだけの事をして来たか(一)(二)』『これからの日本、これからの世界』『日本の偉人』『人生案内』『人類の進歩につくした人々』『文章の話』『心に太陽を持って』『世界名作選(一)(二)』

この文庫は、私の子ども心にいわば人生の旅への最初の想いを与えたようであるが、最近の子どもたちは、一体、どのようなものを通して遠い遥かな人生へ眼を向けるきっかけを掴むのだろうか。

私は中学一年生の頃までは文学少年であったが、中学二年生の夏休みにふとした機会から数学にのめりこむようになり、それが今まで続いている。しかし文学の本が数学に変わっただけで、本好きの性格は少しも変らなかったようである。数学の専門書など味も素気もないものに思えるかもしれないが、専門家には専門家の隠れた楽しみがあって、数式の間からも著者のことが思われたり、いつしか自然に思索へと誘われるような柔らかな空気が伝わってくることも多い。最近ではCD-ROMなどといってコンピューターの画面を通して本を読むなどということも試みられているようであるが、本好きにとっては、ソファーにくつろいで本を手にする楽しみや、風がよく通る和室に寝ころんで気ままに本の頁をめくる楽しみに如くものはない。そんなとき鈴木信太郎の訳になるランボオの詩の一節「季節が流れる、お城が見える、無傷な心がどこにある」が思い出されることもある。本は季節の流れのように、さまざまなものを運んできては去り、やがてまた戻ってくるということを、私の人生の中で繰り返し、それが私の人生に綾を与えてきたようである。

(志賀 浩二: 桐蔭学園横浜大学教授)

志賀先生は『高校生に贈る数学Ⅰ・Ⅱ』(岩波書店)の著者のお一人です。

# さあ、遡及入力私のコンピューター導入奮戦記⑦

木下通子

## 新たな動き

一学期もバタバタとあわただしく過ぎて行きました。4月～7月までの貸出が5,509冊。本の予約件数が413件。寄贈本・コミックも入れて受け入れた冊数が約750冊。「いんぷおめーしょん」も14号まで発行しました。授業もポツポツ入ったりして…。言い訳のようですが、遡及入力なんて、ぜんぜんできません。どーしようと思っていたら、夏休みに入る前に、とても大きな事件がありました。なんと、その遡及入力を始めたんです!

話は5月まで遡ります。生徒の検索用に開放していた古いパソコンのCD-ROMユニットの調子が悪くなって、修理をお願いしたら、型が古くて部品も無いし、買い替えた方が安いと言われて、事務室に何とかしてほしいと頼んでいました。

6月頃、学校で特別予算が組まれることになり、各分掌から要求を募りました。図書館は壊れたCD-ROMユニットとついでに新しいパソコンを買ってもらいたいと思い、「パソコン関係の充実と推進」のような名目で要求を出しました。ところが、図書館にお金をもらえることが決まった後で、この予算は消耗品の予算で、ハードなどの備品は買えないということがわかりました。「パソコン関係」という項目は、この時点では変えられません。そこで、お金の使い方について改めて部会で相談しました。

私はハードが買えないのなら、途中が抜けているHIASK(朝日新聞の縮刷版)などのCD-ROMをそろえようと思っていたのですが、教師から、遡及入力に使ったらどうかという案が出ました。使える予算は30万円。遡及入力がこんな安い予算で終わるわけがありません。とりあえず、次回の部会までに二つの案について、見積を出して検討することになりました。

## 遡及入力なんて

どの会社のMARCを使うかによって値段は違いますが、本といっしょにMARCを買った場合、安くても1冊100円。30万円じゃ、3,000冊分のデータにしかありません。まして、基本カードから

MARCを作ってもらうのは、もっと単価が高いのですから、せいぜい1,500冊から2,000冊のMARCを買うのがやっとです。その上、MARCを買っても、そのMARCをLIBROSのデータに変換し、図書記号などの不足している内容を補っていく作業が必要です。今の私の仕事量を考えると、その作業をする自信がありませんでした。

MARCと言えば、以前少しだけ購入した市販MARCも、LIBROSの形に変換したままです。J-BISCに入っているデータを検索して、ダウンロードしたものも少しあるのですが、そのままになっています。今回少しだけMARCを買っても、宝の持ちぐされになってしまう。こんなことを部会で発言しました。

そうしたら、ある教師から「いろいろな形でデータがあるのなら、それを合わせるのにアルバイトをお願いしてやってもらったら」という意見が出たのです。

## アルバイトを頼む!?

アルバイトを頼む!? その発想にびっくりしました。が、確かにそのお金を人件費に使ってもいいのなら、なかなかの名案だとも思いました。とにかく、今、うちの学校のデータは、①私が手入力しているもの、②市販MARC、③J-BISCからのダウンロード、この三つの形に分かれています。これをドッキングして、何件データがあつて、何件足りないのか把握できるだけでも随分な前進です。誰かにデータが有るか無いかだけでも見てもらえたら、その後の作業もずいぶん楽になるでしょう。

教師が遡及入力をしたらどうかという案を出したのも、それなりの理由があつたのです。前回(19号)でくわしく説明しましたが、現在、うちの図書館は貸出手続きがめんどろで、データが入力できているかいないかによって本の貸し方が違うので、その作業を一本化してほしいと言われていました。

現実的にこの予算が人件費として使えるかどうか、事情を説明するとともに事務室に相談し、OK

をいただくことができました。

さて、次は人探しです。3か月くらいの短期間のアルバイトなので、卒業生の中でも専門学校や短大に行っている学生をあたりました。一人見つかったのですが、9月からは学校があるということで、彼女には8月だけ手伝ってもらうことになりました。その後の長丁場、9月から来てもらう人も、運良く見つかりました。膝の手術をするために、進路を決めずに今年卒業したAさんが、引き受けてくれたのです。彼女は、図書委員ではなかったのですが、よく図書館を利用していた人で、私も人柄を知っていました。

### 作業開始！

8月の上旬は、あっちこっちの研究集會に参加していたので、人を頼んでの作業は、8月14日から始めました。最初に来てくれたのは、“情報処理の専門学校に在学中、ワープロもブラインドタッチで打てます”という卒業生だったので、段取りをきちんと考えていないこちらも、少しは気が楽でした。作業手順を考えながら、二人で試行錯誤しながら作業の進め方を決めていきました。

まず、私が市販MARCを買ったものや、J-BISCからダウンロードしたものなど、バラバラになっているデータをドッキングして、基本カードが入っているカードケースの分類にあわせて、その分類番号のフロッピーを作ります。

次に、二人で、フロッピーと基本カードの読み合わせをし、データがあるかないか確認します。

データが無かったものは、J-BISCからのダウンロードをしてもらいます。この作業には、7連層のCD-ROMユニットが抜群の威力を発揮しています。実は司書室のパソコンの方もCD-ROMユニットが壊れてしまい、生徒用と司書室のと、両方使えないままではどうしようもないからと、CD-ROMユニットも一台買ってもらったのです。今は単体のものでも、7連層でも値段はほとんど変わらなくて、それならばと7連層を選びました。J-BISCは遡及版も入れると3枚のCDに分かれていますので、発行年ごとに年代にあわせたCDを呼び出さなくてはなりません。今までは、そのつどCDを取り替えていたのですが、それをしなくてすむようになって、すごく楽になりました。壊れたままに

なっている生徒用のCR-ROMも、7連層に買い替えたいと思ってます。

J-BISCからダウンロードしたデータは、LIBROSの機能を使って、私がLIBROSのデータに変換します。LIBROSの形になったら、図書記号を入れてもらいます。

最初は、ゆくゆくソフトを変える時のためにも、J-BISCからダウンロードしたデータを保存しておこうかなと考えたのですが、新刊は私がデータを手入力しているし、J-BISC以外の市販MARCも購入していて、この時点でMARCの統一性は無くなっているので、とっておくのはやめました。

さて、それでも何件か未入力のもが残りますから、それを、どうしようかなーと考えました。入力してもらいたいけど、してもらっていいかどうか。著者の読みなどの典拠の問題を考えると素人さんにデータを入力してもらうことに不安が残ります。でも、悩んだ末に手入力してもらうことを選択しました。手入力しなくてはいけないデータは、ほとんど1960年代の本で、書庫に入っている本もあり、実際にはあまり利用されていない本であること。後で入力しようと思っても、絶対できないと思ったこと。それが、決断の理由です。

### 現在、作業中

9月からは、Aさんにバトンタッチして作業してもらっています。夏休み中と違って日常の仕事も押し寄せて来た上に、まずは作業を覚えてもらわなくてはならず、時間がいくらあっても足りません。一日の大半は学校にいるような感じです。が、何週間かたって、お互いの仕事のペースもだいぶつかめるようになりました。

失敗したのは、何か何件だったという記録をちゃんととっておかなかったこと。途中から気がついて、①データがもともとあったもの、②今回J-BISCからダウンロードしたもの、③手入力してもらったもの、この三つの記録をとり始めました。

データは途中からですが、次回の連載の時には、どんなふう作業を進めて、どれくらいの日数をかけてデータを入れたか、色々なエピソードも交えて、くわしく報告できると思います。

では、また！

(きのした みちこ:埼玉県立岩槻商業高校図書館)

# 人が勝手に育つ大学の学長です -滋賀県立大学学長 日高敏隆さん-

日高敏隆さんのご専門は動物行動学で、<刷り込み>という動物の行動を発見したことで名高いコンラート・ローレンツの業績の紹介者であり、その名著『ソロモンの指環-動物行動学入門-』などの訳者です。現在は新設大学の学長として、眠る時間も惜しむ忙しい毎日ですが、お話をうかがうことができました。



高等学校の司書さんを励ます話ね、ほくには難しいなあ、そんな役がつかまるかなあ。

読む本は自分で選ぶんですよ。それも本についての情報を集めるということもありませんね。読ん

でいる本に参考に挙げられているものは別として、それ以外は新聞も参考にするけど、読書新聞とか、専門の新聞も購読してない。ほくにとっては、本はたまたま出くわした本が面白かったか、面白くなかったかということでしょうね。影響を受けるとすれば、たまたま読んだ本から影響を受けたかどうかです。ほくね、昔から今までいわゆる読書家ではまったくない。一度新聞の書評委員を引き受けたことがあります、ほくには向いてないことがわかった。書評委員の先生方は本が好きですね。

図書館には一度も行ったことがない。かといって蔵書家でもないし。自分でたくさんの本を作っておきながら図書館に行ったことがないので、…、図書館に望むことといえば、できるだけいろんな本を揃えてもらいたいというだけです。変な本でもちゃんとある、そういうことをしてほしいな。出会いのチャンスを作ってほしい。

## 若い人はしっかりしている

ほくね、お昼は学生食堂で食べるし、学長室も開けていて、学生をどんどん中へ入れちゃうの。そうして話してみると4月早々だというのに、みんなまともな話をしてるんですよ。それはつまり、高校の3年間で考えてきたことです。それで、ほくは高校生というのは、相当いろんなことをよく考えてるなと思いますよ。高校の先生方は子ども子どもと子ども扱いして、どうやって教育するかそればかり考

えて、結果として馬鹿にし過ぎているんじゃないかと…。大学でもそういう先生はいるんですけどね…。ほくは長い間、大学教師をしてきましたが、学生を教育しようと思ったことは全然ないですね。非常にデリケートな時期ですから、あんまり馬鹿にしてほしくないなあ。

うちは人を育てる大学ではなく人が勝手に育つ大学だと言ってるんです。でもそんなことを謳った大学なんて他にありませんね。学長挨拶用例集なんてのがあって、それを見ても、うちの大学は創造性を育てると書いてありますからね。それでも注意ぶかく新聞なんかを見ていくと、今までとは違う意見が少しずつ出てきたし、この頃そういうのがちょっと流行ってきたようです。心の中ではそう思っている人はいるんだけど、ただ、表向きそれを言う学生が就職に不利だとか、…。ほくはそんなことはない、理解してもらえると思うので平気で言うけど…。

＜だいたい世の中でしばしば使われている言葉は考えてみるとよく分からなくなる。たとえば創造性にしてもね、今の若い人たちに創造性が求められているといわれるが、創造性って何なんだい、創造性を教育することはできるのかということ、どうもできないらしい。やっぱり自分で身につけていくほかない。＞

## 創造性は閃き

身につけるといっても、こつこつ練習を積み重ねてマスターできるものじゃない、創造性って閃きですよ。閃きというと神秘的だと思っている人もいるかもしれないがそれがそうじゃない。ほくの研究でこんな経験がある。

高山に住んでいるマツノキハバチという虫の幼虫を25℃で飼っていたけど三日するとみんな死んじゃう。もう少し温度下げたら四日目まで生きただけど、死んじゃう。うんと温度下げたら葉っぱも食べずにズット生きていて14日めに蓄えを使い果たして全部死んじゃう。要するにどうやっても全

部死んじゃう。それを3年位続けていても虫をとりに行くのはいやになって、…。でもふと温度を一定でなく、高低をはげしく変化させなきゃいけないのだ！と閃いたんですよ。で、次にとりに行くのに、自記温度計を下げていって、山小屋で温度をはかったんですよ。そうしたら昼間は35℃位になって、夜になるとグツと下がって明け方になると5℃になるんです。

それから飼えるようになった。山に行く前に閃いたのがなぜだか分らないの。何年も困った経験をもっていて、片方じゃ山は夜になると寒いからセーターを持っていくという、それは知っている。でもその二つは結びつかなかった。虫を飼えないということを知っている人で、山の上は夜は寒いということを知っている人でなければ思いつかない。だから知識がなくては絶対だめです。で、知識があってもある時までには結びつかなかった。苦労に苦労している状態があつて初めて閃きが出てくる。だからといって苦労していればいいというものでも実はない。なにがいつどうつながるのかというのはよくわかんない。どうすれば思いつくか、閃くのかということは教えられないんです。

もう一つ面白いことに、それを学会で発表するとき、ふっと思いついた、閃いたって言ってもだれも信用してくれないので、山でとった温度の記録をスライドで見せて、これをシュミレートしたら飼えました、と発表したことなんです。科学というのはちゃんとしたデータがあつて、それで…と言われていくけど、ほくはデータというものは思いついてからとり始めているの。データをとってから思いついたんじゃない、そういうもんです。

### 人間学という基礎を学ぶ

教養課程を潰しちゃったんですよ、あんな不毛なものはないから。4年間一貫して、初めから専門、或いは専門基礎を学ぶ。基礎というのは大事なんですね、但し何でもい数学から物理から経済までやっておくよというのが基礎ではないんです。あれがやりたい、それじゃあこの基礎は学んでおかなきゃならないということになり、初めて有効になるんで、とにかくなんでもいからは良くない。それから、ある学問にとつての基礎という考え方がある一方で、広い意味で捉えた基礎

を人間学という講座を創設して学んでもらうことにした。人間はいかにくだらんことをしてきたかということを見直す必要があるんで、例えば20世紀には、ずっと平和平和と言ってきて、未だに毎日の新聞に必ず戦争のことが載っている、結局何にも変わらなかった。これはどうかしてるんですよ。どこかおかしいんで、何がおいしいのか考え直さないと21世紀を見据えてなんてことは言えませんよという主旨で創設した講座です。それは一年から四年、どの学年で聞いても良い、選択必修だから、ある科目数をとる必要はあるけど何をどうとつても宜しいということになっています。近江商人論とかもあるしね。ほくは半年間、週に一コマ受け持って、動物行動学を講じてる。例えば、虫は1匹1匹が自分の生存をかけて、これ以上は危ないとか、損をすとか判断しながら勝手にやってるんだけど、その種全体としてはまとまっている。全体をまとめるシステムはどこにもないのに、あたかもセンターがあるように見える。ところが人間は他の動物と違ってセンターを作つて、あらゆる場合を想定して、管理運営しようなんて考える動物なんです、などなど。学生は350人。面白いらしいですよ。ほくの話は、吉本興行だから。

だけど高校の司書さんを励ます話にはならなかったなあ。(談/1995年8月22日東京にて)

日高敏隆さんの著書・訳書で現在買える主なもの  
 著書：『昆虫という世界』（朝日新聞社）『ネコたちをめぐる世界』（小学館）『エソロジーはどういう学問』『人間についての寓話』『都市の昆虫誌』『無名のものたちの世界』（新思索社）『帰ってきたフェアブル』（人文書院）『植物の論理と戦略』（平凡社）『人類はいません』（福村出版）『大学は何をすところか』（平凡社）『動人物』（福村出版）『動物たちの戦略』（読売新聞社）『動物はなぜ動物になったか』（玉川大学出版会）『利己としての死』（弘文堂）他多数。  
 訳書：『ソロモンの指環』（コンラート・ローレンツ／早川書房）『文明化した人間の八つの大罪』（コンラート・ローレンツ／新思索社）『生物からみた世界』（エクスキュール、ヤーコプフオン、クリサード、ゲオルク／新思索社）『攻撃』（コンラート・ローレンツ／みすず書房）『裸のサル』（エドモンド・モリス／河出書房新社）他多数。

## ★誌上ブックトークテーマはピアス—第3回—

## 気になる金属アレルギー

＜ピアスにご用心＞などの見出しで大きな記事が12月末の新聞各紙に載ります。これは、厚生省が全国六つの大学病院をモニターとして調査している＜家庭用品が原因と考えられる健康被害例の集計報告書＞が年末に出るからで、それによると、平成三年度から、装飾品が原因となったアレルギー性皮膚接触炎が一位になり、なかでもピアスによる発症は愛好者が増加につれて増えています。

アレルギーの本を数冊めくってみますが、金属アレルギーについては数行の説明があるきりです。もっと詳しく解説している本があってもよさそうです。そして見つけた『金属アレルギーはもう怖くない』（鈴木克夫／廣済堂出版）。曰く、「安全な素材で作られたものでも発症する・高価な品でも100%安全ではない・身体に必要な金属で発症することもある・昨日までなんともなくても明日はわからない、etc.怖くないどころか…。ようやく見つけた『ピアストラブルも解消／みみ、はな、のどの変なとき』（三好彰／いちい書房）は、高校の図書館にほしい一冊。ピアストラブルに限らず、花粉症・耳なり・鼻づまりなど耳鼻咽喉全般にわたって、煽ったりたかを括るのではなく、簡潔でわかりやすく、読みやすい誠実な一冊です。「ピアストラブルも解消」という副題は営業面の配慮からでしょうか。著者は、シュタイナーの思想を病院経営に生かしている人で、興味深い本になっています。

金属アレルギーの発症には、ニッケルの含有率が関係しています。欧米を中心に「日常肌に触れるような状態で使用されるもの」、アクセサリからファスナーにいたるまでニッケル規制の動きが進んで、日本の時計メーカーも輸出用はニッケルフリーです。通産省では健康という観点から品質を規制する動きはなく業界の自主規制に任せて、相談活動を充実させる方向で進んでいます。最近は日本でも生体適合性に優れたセラミックやチタン製のピアスが発売されていますが、使用法を間違えば皮膚トラブルの原因になるそうです。

## 読み物に登場するピアス

ユーミンの『パールピアス』（東芝EMI）をBGMにJ-BISCから拾った、現在手に入る本を紹介します。

『探偵・竹花とポティ・ピアスの少女』（藤田宜永／双葉社）：売れない探偵は鼻と下唇にピアスをした17才の少女を助け、殺人事件に巻き込まれ…

『ピアスの風穴』（泉麻人／角川書店『ヴァンサンカン』）：花嫁の耳には婚約者の部屋で見つけたライバルのピアスが…。

『赤い稲妻』（有栖川有栖／講談社『ロシア紅茶の謎』）：殺人現場で見つけた片方のピアスから事件の真相が…。

ここまではまあ正統派の小説。オカルトファンには『血のピアス』（竹河聖／サンケイ出版）、コバルト文庫に『月光のピアス』（藤本ひとみ／集英社）があります。

『ピアスをした女性技術者たち』（田村奈穂栄／講談社）は理数系のキャリアウーマンへのインタビュー集。女子高校生が、具体的で魅力的な先輩像を見つける手助けになると思われますが、ピアスをした女性技術者たちへのインタビュー集ではありません。

『さてコーヒーはいかがですか』（大和書房）は小林カツ代さんが高校生の娘さんにピアスをしたいと言われてうろたえ、それからどうしたのかが嫌味のない表現で…。

『ピアスのランナー 1～4』（田中つかさ／秋田書店）はコミック。さわやかスポーツもの。ここに登場する女子ランナーはピアスをしています。それはコーチや勤務先の管理から自由でありたいという気持ちの表現です。

『波と耳かざり』（新潮社）は港千尋の写真集で、深くべールをかぶった女が顔を動かすとき、見え隠れする耳飾りには漁に出たきり戻らない男の写真が…。港に生きる人々の象徴としてタイトルに…。

『片方の耳飾り』（中央公論社）は杉本苑子の随想集で、図書館を利用する大人向けにいかが。

## 1000個のピアスが見られる耳飾り館

本ではありませんが紹介したいのがく榛東村耳飾り館です。群馬県榛東村で発掘された縄文後期の600個のピアスを核に、古代から現代まで、世界各地から集めた約1000個のピアスと若干のイヤリングを収めた世界最初の耳飾り専門館です。日

本のピアスは年代順に展示されて、まず縄文時代の600個のピアスは素焼です。弥生時代にはピアスはありません。その後、古墳時代(4~7世紀)の精巧な金細工のピアスがあり、その次に日本の歴史に耳飾りが登場するのは、昭和初期の宝塚の舞台で使われたイヤリングです。その間に1300年に及ぶ空白がありますが、アイヌの人々は別の歴史を持っています。アイヌの人々の間では男女を問わず一人前になりかかるころ祖母や母親がピアスの穴をあけてきました。1cm巾ほどの赤い布を通した畳針のような針で、耳たぶに穴をあけ、上皮化するまでその布を通しておいたそうです。明治時代になると刺青と共にピアスも禁止されましたが、耳飾り館には繊細というより骨太で

力強い真鍮製のピアスが保存されています。(耳飾り館：〒370-35群馬県北群馬郡榛東村山子田1912 TEL.0279-54-1133)

ピアスをするときは、新しい一歩を踏み出すためになどの積極的な動機があるようです。昨日までの自分とは違う自分を表現する小道具の一つがピアスです。高校生を対象にするブックトークのテーマとしては、授業や行事関係のものが主流で、ピアスを追っかけるなんてことは、現場の人には思いもよらないでしょう。いろいろな方法で本を選んできましたが、高校生が興味をもって手にする本の群れとトークの流れを組み立てることができたでしょうか。〈了〉(L A S探検隊)

—50音順でひける世界の歴史—  
**世界歴史大事典**  
 スタンダード版 全21巻  
 (本巻20巻/総索引・補遺1巻)  
**定価88,000円(本体85,437円)**  
 B5判・上製・カラー表紙・PP貼  
 頁数/各巻平均360頁・総7,700頁  
 総項目数/約13,700項目  
 写真図版/モノクロ約13,000点  
 総執筆者/約1,300名  
 企画/世界歴史大事典刊行会

**株教育出版センター**  
 〒101 東京都千代田区神田神保町2-46  
 TEL03-3239-5438 FAX03-3261-6419

**プラハ城**  
 —歴史と遺産—

◎監訳一稲野 強  
 B4判変型上製カバー装/保護箱入り  
 本文272頁/総カラー/写真238点収録  
 定価12,000円(税込)

◎好評発売中!  
 (主な内容)  
 ・プラハ城の起源と歴史・歴史の情景  
 ・聖ヴィート大聖堂・国立美術館・庭園



過去と現在が絶妙に交錯する歴史の街プラハ。  
 その丘の上に立つプラハ城と王室コレクションの粋を、  
 丁寧な解説と美しい写真で紹介する豪華写真集!

**恒文社** 〒101東京都千代田区三崎町3-10-10 TEL03(3238)0181

**日本産**  
**魚類生態大図鑑**  
 益田 一・小林安雅著

日本列島と周辺海域の淡水魚、海水魚1916種を生態写真3084枚で紹介した日本最大の魚類生態図鑑。雌雄、カラーバリエーション、ヤング・アダルト、産卵の様子などを示した使いやすい編集。生息域、有用種などの情報も充実



B5判/上製/函入  
 514ページ(オールカラー)  
 ☆定価9785円(税込)

**東海大学出版会** 〒151 東京都渋谷区富ヶ谷2-28-4  
 Tel.03(5478)0891 Fax.03(5478)0870

名著『字統』『字訓』に続く、  
**白川漢字学の集大成!**

**字通** 1996年新春刊行予定!!

立命館大学名誉教授 **白川 静** 著



漢字の成り立ち、意味、用例を精確無比に追究した漢和辞典の最高峰、ここに誕生。  
 ◎50音配列  
 B5判/本文7ポ4段組  
 約2,000頁/上製/箱入り

◎予価24,000円(税込) **平凡社**



# 死の沈黙

ドイツ強制収容所跡の写真集

A4判変型・7800円

【戦後50年記念国際共同出版】  
増刷出来！ヨーロッパ各地に残る収容所跡の写真198点を収録。知識を超え、過去と向き合い、心で感じる写真集

# 子どもの作文で綴る戦後50年

[日本作文の会編]

全17巻

- A5判上製カバー
- 各巻平均256頁
- 全17巻セット [揃価]47,600円
- 各巻[定価]2,800円

戦後、日本の子どもたちが綴った膨大な作文の中から1200点を精選し、17のテーマ別に集大成。学校図書館必備図書

## ベストセラー 平和教材

テープ付紙芝居

# 被爆者からの伝言

日本原水爆被害者団体協議会編 8800円

- ①ミニ原爆展にもなる32枚の紙芝居、②ドラマチックなナレーションテープ、③わかりやすい解説書、④広島・長崎の遺跡めぐり地図などの函入りセット。

戦争実物復刻資料

# 平和への伝言

監修/藤原彰 寄稿/森村誠一 お話/高木敏子他 3500円

- ①赤紙など復刻実数資料32点、②写真豊富な解説書、③戦争体験者の語りカセットの3点セット。日本図書館協会・全国学校図書館協議会選定図書

あけび書房 東京都千代田区神田神保町2-12  
☎03-3234-2571 FAX03-3234-2609

東京都文京区本郷2-11-9 大月書店 電話03(3813)4651<代表>

ライトハウスに上級版 新登場!

# カレッジ 新発売

ライトハウス 英和辞典 2色刷 7万8千語収録

竹林 滋・小島義郎・東 信行 編  
●上級学習者にも対応できるよう大幅に増強された最新の英和  
定価3200円・革装5000円

# ライトハウス 和英辞典

小島義郎・竹林 滋・中尾啓介 編  
●受験生から社会人までの使用を想定した「活用度の高い上級和英」  
定価3100円・革装5000円



〒101 東京都千代田区 富士見2-11-3 研究社 電話: 03-3288-7777 FAX: 03-3288-7799

国内外の著名な画家たちが描いた、子どもたちに身近な主題の名画を、テーマ別に多数収録した、画期的な画集。

# 心にのこる名画美術館

全5巻

監修: 加山又造、永井道雄 責任編集: 瀬木慎一  
揃定価17,500円(税込) ●小学中学年~中学生向

- ①父と母と子どもたち
- ②生きものたちの世界
- ③自然の美しさとやさしさ
- ④愛とよこぎりと悲しみ
- ⑤ふしぎな夢の世界



金の星社 東京都台東区小島1-4-3 〒111  
☎03-3861-1861 FAX03-3861-1507

# 新聞で調べよう 現代日本の50年

現代日本の50年編集委員会編

新聞記事のかたちをとって再現!  
A4判・定価各3600円(税込)・全5巻

- 1 新憲法と戦後復興
- 2 国際復興と東京オリンピック
- 3 高度成長と公害
- 4 豊かさとの国際関係
- 5 昭和から平成

大日本図書 〒104 東京都中央区銀座1-9-10  
☎03(3561)8679 FAX03(3563)5596

# 高校生に環境問題の たしかな知識を

いま、生命を育むために  
私たちがすべきことは何か?  
私たちは生命と環境を考え続けます。

だれでもできるやさしい

# 水のしらべかた

- 水道水
- 河川の水
- 酸性雨
- 台所排水
- 食品添加物などをしらべる



〒101 東京都千代田区神田神保町1-52  
TEL 03(3294)3506 FAX 03(3294)3509 合同出版